



5月2日(火)

## 瓶の中のコイン

聖書朗読 マタイ 6:19~24

自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。 マタイ 6:19

32年間働いた職場を辞めて出ていくのは奇妙なことに思えます。私を36の州と16の国に連れて行った仕事を突然辞める時がきました。その仕事は、私に沢山の思い出を与えてくれました。

旅行をした時は毎回、私は外国の通貨をいつもポケットにいっぱい入れて家に持ち帰っていました。チューンガムを購入した時のおつりや現地のごちそうを食べた時に支払った後のお釣りは、リビングにある瓶の中に加えられていきました。海外から帰ってきて、また通常の仕事に戻るとき、私はポケットに入った沢山の外国のコインを持って出勤しなくなかったので、外国のコインを瓶に入れて会社に行きました。すぐさま瓶は小銭で一杯になりました。今では、沢山の瓶が海外の通貨でいっぱいになっています。しかし、私はそれをオハイオ州の近所の店で使うことはできません。瓶はお金でいっぱいですが、そのコインは、私が住んでいる場所では何の価値もありません。つまり、私たちは物質的な品物を得るために人生を費やすことができますが、それらのお金で霊的なものを購入することができません。平和、喜び、そしてその他のあらゆる霊的な贈り物は、お金に変わることができないのです。私たちがイエス・キリストのご性質を得たいと思うのであれば、瓶に貯めたコインではダメなのです。それは、今の人生においても、やがてやって来る天の御国においてもそうなのです。

讚美歌 284

祈り 親愛なる主よ、あなたをご自身の子どもに授けてくださるものはなんと豊かなのでしょうか。私たちはあらゆる物質的な恵みに感謝しますが、しかしキリスト・イエスの内にあるいのちと比べればそれらが色あせることを知っています。私たちが自分の持っているものの本当の豊かさを理解できるよう助けてください。イエス様の御名により。アーメン。

ピート・ナッシュ  
オハイオ州 ワーレン

5月3日(水)

## 神様のやり方で物事を見る

聖書朗読 マタイ 6:14~29

もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。 ガラテヤ 5:25

「山上の聖訓」においてガリラヤの開けた丘で行われた説教で、イエス様はご自身に従う者がどのようにすべきであるかを解き明かしました。今や人となられた永遠なるイエス様が、ご自身の弟子となろうとする人々に対し、全てのことを新しい物の見方で見ようにと仰ったのです。

例えば、人に何かされたら仕返ししようとするのではなく、むしろ赦しなさい——あなたが神様に自分を赦してほしいと望むように赦すことだと。霊的な訓練としての断食を行うとき、人に見せるのではなく、隠れて行うことによって自分のしていることを神様だけが知っているようにしなさい。この世の金、銀、名誉のように過ぎ去っていくものではなく、永遠に残るものを宝として蓄えなさい。2人の主人に仕えることはできないから、握りしめているすべてのものを手放して、全世界を気にかけておられる神様に信頼しなさい！ 弟子となることへの呼びかけも同じようです。神様をより全面的に信じるために手放す必要のある、あなたを縛り付けているものは何ですか？ これからは、決してひるむことなくイエス様にいつもついていきましょう。なぜなら私たちがイエス様についていくなら、イエス様をご自身の強さを与えて下さるので、私たちは決して失敗することはないのですから

この力のそばにいるほど、あなたは強くなるでしょう。

ミラノのアンブロジウス

讚美歌 285

祈り 私が自分を良くないことに巻き込ませているすべてのものを手放し、あなただけを信頼することができるように助けてください。イエス様の御名により。アーメン。

ジョアン・ロング  
テキサス州 ラボック

5月4日（木）

## 私たちのあわれみ深い神様

聖書朗読 マタイ 9：9～13

あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。 マタイ 5：7

神様は、時に私たちに対して、驚くべき方法を取ります。私たちは自分が他人に向けたあわれみと同じ分だけあわれみを受けます。私たちは他人を赦したように赦されます。私たちは神様と同じように人を愛する時に神様の子どもであることを示すことが出来るのです。しかし私たちの性質は、人に愛を与えるということに焦点をあてるより、神様に従っていない人を裁くことに焦点を当てがちです。

そうです、神様は私たちに従うように呼びかけます。神様は、私たちの神様への誠実さを行動によって実証するように命じておられます。神様は私たちに完璧であれとさえ呼びかけています（マタイ 5：48）。たとえ、神様が私たちが完璧ではないことをご存知だとしてもです。

私たちは今なお罪人です。良いことをしたいと思いつつも悪いことをしてしまう時があります。ある時には自分が悪の中にいることを分かっているがそこから抜け出せないでいるのです。その悪の中にいる時は、神様が私たちに望んでおられることなど気にも留めず、悪いことをし続けてしまうことさえあります。しかし、他人が自分たちと同じように良くない行動しているのを見た時に、神様が私たちに与えてくださったあわれみを思い、人を許すのではなく、その悪い所を見て人を裁いてしまうのです。イエス様が罪人たちと共に食事をしているのをパリサイ人が非難している時、イエス様はパリサイ人の中に爆弾を投下します。「わたしはあわれみは好むが、いけにえは好まない」つまり、助けを求めているのは罪人であり、その罪人を主に導くために自分がこの地上に来たのだと仰っているのです。

讚美歌 II173

祈り 私たちの恵み深いお父様、あなたが私たちにあわれみをもって接して下さったように、私たちが他の人たちにあわれみをもって接することができますように。あわれみを教えてくださいました方、イエス様の御名により。アーメン。

ペニー・F・ニコルズ  
テキサス州 オデッサ

5月5日（金）

## 証明しましょー！

聖書朗読 マタイ 12：38～44

先生。私たちは、あなたからしるしを見せていただきたいのです。 マタイ 12：38

旅をするときは、誰でも自分の名前や生年月日を証明する正式な書類、そしてしばしば運転免許証またはパスポートを持っていないといけません。外国に出て行ったり外国から帰ってきたりするときは特にそうです。私たちは自分が自ら名乗っている通りの人間であることを証明しなければなりません。

イエス様については、この聖書箇所、律法学者とパリサイ人が証明を求めています。もっと多くの奇跡、しるし、そして不思議を。自分が名乗っている通りの人間であることを私たちに証明しろ、と。イエス様の回答は素晴らしいものです。イエス様は「悪い、姦淫の時代はしるしを求めています」（39節）と言いました。人々はイエス様がしるしや奇跡を行なうことを見てイエス様がどんなに凄いことができるかを証明してほしいのです。そして、そのしるしや奇跡をただ楽しみたかっただけのように見えます。彼らはイエス様ご自身をみておられたのではなく、イエス様のなさるしるしと奇跡に目を留めたのです。

イエス様はご自分が神様であることを証明させるようなことをする必要はありません。イエス様は神なのです。人を癒す必要があまりだと思えばそうなります。そして、私たちに、また聖書という贈り物も与えられています。私たちはイエス様の人生とその言葉を毎日見ることができます。イエス様は、神の御子です。私たちがイエス様を見て、イエス様の仰るみことばを行なうなら、私たちは変えられます。私たちに必要な証明はそれだけです。

讚美歌 280

祈り お父様、私たちがあなたを、あなただけを見ることができるようにお助けください。私たちに証明として必要なのは、あなたの血と赦しだけです。私たちの心を変えてください。イエス様の御名により。アーメン。

シェリー・リームズ  
テキサス州 ラボック

5月6日(土)

## とどまるべきか、去るべきか？

聖書朗読 マタイ 13:1~9

耳のある者は聞きなさい。

マタイ 13:9

その日自分が湖のほとりに立っているのを想像できますか？ あなたはイエス様が、見る人に畏敬の念を起こさせる教え、癒し、そして奇跡を行った家からイエス様についてきました！ いまやそこにはあまりにもたくさんの人々がいて、イエス様は教えるためにボートに乗らなければなりませんでした。あなたはそこにいて、他の人たちと肩を並べ、比類のない人に耳を傾けています。

その日のたとえ話のひとつは種を蒔く人——単純な農園の話でした。農夫は種を蒔きます。そのうちのいくつかは成長しましたが、しかし土の薄い岩地や、日差しや、鳥や、あるいは茨のせい成長できなかった種もありました。そのときイエス様は「耳のある者は聞きなさい」と言いました。癒すために耳の聞こえない人を探して言ったわけではありません。皮肉を言ったのではありません。イエス様はただ言葉の通りに言ったのです。「聞きなさい」と。

私とその群衆の中にいたとしたら、理解して人生を変える選択をすることができたでしょうか？ あるいは私はボートの上の人物に失望して、背中を向けたでしょうか？ 私は人生を変えるために必要なものに気づくことができたでしょうか？ 今日、私は同様の選択を迫られています。とどまって従うか、イエス様のもとから去っていくか。

讚美歌 338

祈り お父様、この人生には障害物がいつもあることを、私が覚えていられるように助けてください。信じる者と共にいると約束してくださるあなたの御言葉を覚えていられるように助けてください。救い主の言葉にいつも喜んで耳を傾けることができるように助けてください。美しいイエス様の御名により、祈ります。アーメン。

シャロン・フォスター  
テネシー州 マケウェン

5月7日(日)

## 天国から1円頂いたらどうしますか

聖書朗読 マタイ 25:14~30

だったら、おまえはその私の金を、銀行に預けておくべきだった。そうすれば私は帰って来たときに、利息がついて返してもらえたのだ。 マタイ 25:27

このたとえ話を現代にアップデートして、あなたが1タラントの人であったと考  
えてみましょう。主人に対するあなたの答えはどのようなものだったでしょうか？  
それはこのようなものだったかもしれません。「ご主人さま、最近の利息をご存知です  
か？ あまりにも低いので銀行に行く価値もないのです！ そして経済の状況から考  
えて、どうして銀行がつかぬなんて分かりますか？ こんな状況ではつかぬてしま  
うかもしれません。確かに、政府によって銀行に保険がかけられていることは知っ  
ていますが、しかしあなたは我々の政府がどの程度機能しているか確認しましたか？  
つまり、最も賢い判断は銀行に預けたりするのではなく、安全な隠し場所にお金を入  
れておくことなのです！」 そして、あなたはそのお金を穴に埋めます。それからあなた  
は、時が来た時にお金を埋めた場所を覚えていられることだけを願いながら、自分の  
仕事に行きます。ちょっとしたセーフティネットです。

このたとえ話を讀んだとき、私は神様が与えてくださった賜物がどれほど小さいかということとは関係がなく、神様はただその小さいことや物のために、私たちがどれほどベストを尽くすことに関心があるのだということを教えられました——その賜物がお金であれ、時間であれ、あるいは能力であれ。ルカの福音書21章1節から2節のやもめの話のように、彼女が捧げたお金がどんなに少ないお金だったとしても、その全てを捧げたやもめに対して天の喜びがどんなに大きかったかを私たちは知っています。私たちも、もし、わずかなお金、わずかだと思える才能、ほんの少しの時間を主から頂いたとするならば、それをこれっぽっちだから何もできないと思うのではなく、それを最大限に活用することを考え行動するとき、主は大いに喜んで下さるのです。

聖歌 604

祈り おお、偉大なる神様、あなたが私の足元においてくださった天からのお金に感謝します。私がそれをあなたの御国の拡大に使い、土に埋めてしまうことがありませんように。イエス様の御名により。アーメン。

ジェス・ピーターソン  
テキサス州 ラボック